

小学生の地図帳

年間指導計画作成資料

令和2(2020)年度 第3・第4学年用

令和元(2019)年9月版

ご留意点

1. 令和2年度より、「教科用図書 地図(以下地図帳)」は第3学年から配布・使用されます。また、令和2年度の第4学年では、第3学年とともに、新しい教育課程に基づく「地図帳」が供給されます。なお、令和2年度の第4学年では新しい「社会科の教科書」は供給されません(令和2年度より使用する教科書の発行者が作成する補助教材を併用して指導することになります)。
2. 本資料は、新しい教育課程に基づく「地図帳」が供給される令和2年度の第3・第4学年を対象にしたものです。令和3年度以降の第5・第6学年に対応した「地図帳」の年間指導計画作成資料は、「教師用指導書」等にてお示しする予定です。
3. 単元ごとの学習活動、地図帳の活用例などについて、今後、「教師用指導書」等にて変更になる可能性があります。予めご承知ください。

【参考資料】移行期間及び新教育課程で使用する社会科教科書・教材 ※副読本の改訂年度は各市区町村教育委員会により異なります。

令和元(2019)年度[移行期間]	令和2(2020)年度[新教育課程開始]
第3学年 現行教科書 + 副読本	第3学年 新版地図帳 + 新版教科書 + 副読本
第4学年 現行地図帳 + 現行教科書 + 副読本	第4学年 新版地図帳 + 現行教科書 + 補助教材 + 副読本
第5学年 現行地図帳 + 現行教科書	第5学年 現行地図帳 + 新版教科書
第6学年 現行地図帳 + 現行教科書	第6学年 現行地図帳 + 新版教科書

地図帳に関するポイント 令和2(2020)年度のみ第3・第4学年それぞれに配布されます。

令和2(2020)年度の第5・第6学年は、第4学年時に配布の地図帳(現行地図帳)を卒業まで使用します。

◎すべての単元ではなく、とくに地図帳が効果的に活用できる単元を掲載しています。

第3学年

【地図帳の基礎指導】

◎地図帳が配られた際のオリエンテーションとして時間を設ける、【わたしたちの住む市(区町村)のようす】の学習にあわせるなどして取り扱ってください。

また、単元の合間に、関連した内容を復習すると効果的です。

	主な学習活動	地図帳の活用例	対応する地図帳のページ
つかむ	見る角度(視点)によってわかる情報が異なることを理解する。また、写真、絵図、地図の比較を通して、地図からわかることを理解する。	まず学校を上から見てみよう。 もっと広い範囲を見てみよう。	p.7~8 地図って何だろう
調べる	方向が東西南北で表せること、地図には方位記号が書かれていることを理解する。	方位で正しい方向を表そう。 地図から方位を読み取ろう。	p.9~10 地図のやくそく(1)方位
	地図記号の機能性を確かめ、地図上では建物や土地のようすが地図記号で表されていることを理解する。	地図記号を使おう。 どの地図記号を知っているかな。	p.11~12 地図のやくそく(2)地図記号
まとめ	地図は実際の距離が縮めて描かれており、地図のものさしから実際のきよりが求められることを確認する。	きよりを求めよう。	p.13 地図のやくそく(3)きよりの求め方
	今までに学習した地図のやくそくをふりかえり、活用する。	たからさがしにちょうせんしよう。	p.14 たからさがしにちょうせんしよう

地図帳の使い方については、〈p.15~16 地図帳の使い方(1)記号と色(凡例)/p.17~18 地図帳の使い方(2) さくいん・縮尺〉で、丁寧に解説しています。わからないことがあれば、地図帳のやくそく・使い方のページに戻って確認するように指導しましょう。また、さくいんから地名をさがす学習活動は、〈p.106 さくいんの見かた〉でも取り扱っています。

【わたしたちの住む市(区町村)のようす】

	主な学習活動	地図帳の活用例	教科書の地域の例と対応する地図帳のページ		
			福岡県福岡市	神奈川県横浜市	兵庫県姫路市
つかむ	自分たちの住む市(区町村)の位置を確かめる。	わたしたちの住む市(区町村)の場所を地図帳で調べてみよう。	p.19~20 ①広く見わたす地図/p.33~34 ①九州地方/p.35~36 ①九州地方北部/②国際化が進む福岡市	p.23~24 ①広く見わたす地図/p.57~58 ①関東地方/p.59~60 ①関東地方南部/p.63~64 ①東京都とそのまわり	p.21~22 ①広く見わたす地図/p.43~44 ①近畿地方/p.45~46 ①近畿地方中部
	市(区町村)やまわりの地域には何があるか調べる。	市(区町村)の東西南北にはどのような場所があるのか調べてみよう。			
調べる	疑問をもとに学習問題をつくり、学習の見通しをもつ。				
	市(区町村)の地理的なようすについて調べる。	地図帳ページの使い分けについては、〈p.18 ②目的に合わせて地図を使い分けよう〉で、丁寧に解説しています。	副読本と併せて、教科書の事例のように、自分たちの住む市(区町村)の地図を活用してください。 ※以下の単元でも同様です。		
市(区町村)の土地利用について調べる。					
市(区町村)の交通について調べる。					
まとめ	調べてわかったことをまとめる。				

【はたらく人とわたしたちのくらし】

	主な学習活動	地図帳の活用例	教科書の地域の例と対応する地図帳のページ		
			福岡県福岡市	神奈川県横浜市	兵庫県姫路市
つかむ	地域の生産・販売のようすについて調べる。	わたしたちの住む地域ではどのようなものがつくられているのか調べよう。	p.19~20 ①広く見わたす地図/p.33~34 ①九州地方/p.35~36 ①九州地方北部/②国際化が進む福岡市	p.23~24 ①広く見わたす地図/p.57~58 ①関東地方/p.59~60 ①関東地方南部/p.63~64 ①東京都とそのまわり	p.21~22 ①広く見わたす地図/p.43~44 ①近畿地方/p.45~46 ①近畿地方中部
	疑問をもとに学習問題をつくり、学習の見通しをもつ。				
調べる	どのような生産・販売の工夫があるのか見学を行う。				
	見学して調べたことをもとに、原料や商品などを通じた他地域とのつながりについて調べる。	つくられた商品や作物、原材料は、他の地域とどのようにつながっているのだろうか。	(国内から)p.19~28 広く見わたす地図/p.116 □都道府県の区分 (世界から)p.1~3 世界発見! / p.118~120 ①世界の国々 ※国名と国旗		
まとめ	見学して調べたことをもとに、働く人々の工夫や努力、願いを考える。				
	調べてわかったことをまとめる。				

第4学年

【日本の都道府県】

◎47都道府県の名前と位置は学習にあわせてその都度確認し、小学校卒業までに身につけて活用できるように指導しましょう。

	主な学習活動	地図帳の活用例	対応する地図帳のページ
	日本列島を構成する主な島を調べる。	北海道、本州、四国、九州、南西諸島の位置を確認しよう。	p.4~6 日本をながめてみよう/p.19~28 広く見わたす地図/p.116 □都道府県の区分
	自分の知っている県(都道府)についてカードに書く。	自分の知っている県(都道府)を探してみよう。	p.116 □都道府県の区分
	47都道府県の名前と位置を調べる。	47都道府県の名前と位置を調べ、覚えよう。	p.115 都道府県の名前と位置/p.116 □都道府県の区分

【わたしたちの住む県(都道府)】

	主な学習活動	地図帳の活用例	教科書の地域の例と対応する地図帳のページ		
			宮城県	福岡県	岡山県
つかむ	自分たちの住む県(都道府)の位置を確認する。	わたしたちの住む県(都道府)の位置を探すには、地図帳のどこを見ればよいのだろうか。	p.4~6 日本をながめてみよう/p.19~28 広く見わたす地図/p.116 □都道府県の区分		
調べる	県(都道府)について概要をつかむ。	県(都道府)は、どのような特色があるのだろうか。	p.66~68 ①東北地方/②気仙沼付近の漁業のようす/③仙台市とそのまわり	p.33~34 ①九州地方/p.35~36 ①九州地方北部	p.37~38 ①中国地方/p.41~42 ①瀬戸内海周辺
	県(都道府)の地理的なようすを調べる。	県(都道府)の地形のようすについて調べよう。	p.103~104 日本の統計		
	県(都道府)の産業や交通を調べる。	県(都道府)の土地の使われ方について調べよう。	p.87~88 日本の自然のようす(1) p.95~96 日本の産業のようす(1)農水産業/p.97~98 日本の産業のようす(2)工業・交通		
まとめ	調べたことを整理してまとめる。				

【健康な暮らしを守る仕事 ~水はどこから~】

	主な学習活動	地図帳の活用例	教科書の地域の例と対応する地図帳のページ		
			岡山県岡山市	神奈川県相模原市	大阪府
つかむ	自分たちが水をどのように使っているか、地域で使われる水の量の移り変わりにも着目して考える。				
	私たちが使っている水について疑問を出し合い、学習問題をつくる。	水はどこから蛇口に来ているのか予想してみよう。	p.37~38 ①中国地方/p.41~42 ①瀬戸内海周辺	p.59~60 ①関東地方南部/p.63~65 ①東京都とそのまわり	p.45~46 ①近畿地方中部/p.47~48 ①京阪神(京都・大阪・神戸)
調べる	浄水場ではどのようにして安全・安心な水をつくっているのか調べる。				
	ダムや水源林の働きについて調べる。	わたしたちの飲んでいる水はどこから流れてきているのだろうか。	p.37~38 ①中国地方/p.41~42 ①瀬戸内海周辺	p.59~60 ①関東地方南部/p.63~65 ①東京都とそのまわり	p.45~46 ①近畿地方中部/p.47~48 ①京阪神(京都・大阪・神戸)
	水を守る人々の働きについて調べる。				
まとめ	調べたことを整理してまとめる。				

【自然災害から人々を守る活動】で活用できる地図一覧

◎「地震」「津波」「風水害」「雪害」などから、過去に県(都道府)で発生したものを選択して学習します。

災害名	対応する地図帳のページ
すべてに関わるもの	p.47~48 ①京阪神(京都・大阪・神戸)/p.63~65 ①東京都とそのまわり ※おもな広域防災拠点 p.61~62 ①日本の首都・東京 ※災害時のおもな避難場所 p.91~92 □日本で起きたおもな自然災害 p.93~94 □自然災害とその備え(模式図) p.94 防災マップづくり
地震	p.92 ③世界の地震の分布/p.94 ④地震の被害と防災への取り組み
津波	p.66 ②気仙沼付近の漁業のようす ※復興のようす/p.93 ③先人たちが残した教訓
風水害	p.54 ②洪水への備え-濃尾平野の輪中-/p.91 ②おもな台風の進路/p.93 ②都市部での洪水への備え
雪害	p.71 ③札幌市中心部-雪の多い都市の工夫-/p.89~90 日本の自然のようす(2)気候 ※降水量

第4学年

【(県(都道府)内)の特色ある地域 ～伝統工芸を生かした地域～】

	主な学習活動	地図帳の活用例	教科書の地域の例と対応する地図帳のページ		
			宮城県石巻市	福岡県東峰村	岡山県備前市
つかむ	自分たちの住む県(都道府)の中には、古くから伝わる伝統工芸があることをつかむ。	わたしたちが住む県(都道府)で、伝統工芸を生かしたまちづくりを行っている地域を調べよう。	p.66～68 ①東北地方 ⇒雄勝すずり (p.68オ8)	p.33～34 ①九州地方 ⇒小石原焼 (p.33エ3)	p.37～38 ①中国地方 ⇒備前焼 (p.38ク4)
調べる	作業工程や仕事のようにすについて調べる。 伝統工芸がさかんになった理由や、伝統工芸を守り続けるための努力について調べる。	伝統工芸は、経済産業大臣指定の「伝統的工芸品」を中心に、同じ焼き物でもイラスト表現に差をつけるなどして、独自のよさが伝わるように掲載しています。自分たちの住む県(都道府)の伝統工芸について探してみてください。			
まとめ	わかったことを表にまとめ、伝統工芸品のキャッチコピーをつくる。				

【(県(都道府)内)の特色ある地域 ～歴史や自然を生かした地域～】

	主な学習活動	地図帳の活用例	教科書の地域の例と対応する地図帳のページ		
			宮城県松島町 または登米市	福岡県太宰府市 または岡垣町	岡山県真庭市 または岡山市
つかむ	自分たちの住む県(都道府)にあるむかしのまちなみが残っている地域、または自然を生かしたまちづくりを行っている地域を調べ、自分たちの住んでいる地域とくらべる。	わたしたちの住む県(都道府)で、歴史(または自然)を生かしたまちづくりを行っている地域を調べよう。	p.66～68 ①東北地方／③仙台市とそのまわり	p.33～34 ①九州地方／p.35～36 ①九州地方北部	p.37～38 ①中国地方／p.41～42 ①瀬戸内海周辺
調べる	特色ある地域の産業や生活のようすや、人々の工夫や努力について調べる。				
まとめ	わかったことをイラストマップにまとめる。				

【(県(都道府)内)の特色ある地域 ～国際交流のさかんな地域～】

	主な学習活動	地図帳の活用例	教科書の地域の例と対応する地図帳のページ		
			宮城県仙台市	福岡県福岡市	岡山県総社市
つかむ	自分たちの住む県(都道府)と世界とのつながりに関心をもつ。	わたしたちの住む県(都道府)とつながりのある国々はどこか調べてみよう。	p.118～120 ①世界の国々 ※国名と国旗		
調べる	県(都道府)にある国際交流がさかんな地域について調べる。		p.66～68 ①東北地方／③仙台市とそのまわり	p.33～34 ①九州地方／p.35～36 ①九州地方北部／②国際化が進む福岡市	p.37～38 ①中国地方／p.41～42 ①瀬戸内海周辺
	姉妹都市や友好都市などに着目し、自治体としての交流について調べる。	姉妹都市や友好都市になっている場所はどのようなところか調べてみよう。	p.75～86 世界の地図 ※姉妹都市の例はp.86		
	交通による世界とのつながりについて調べる。		p.98 ㉔日本の航空路		
まとめ	わかったことを白地図やパンフレットにまとめる。				

◎第5・第6学年の年間指導計画作成資料は、「教師用指導書」に掲載いたします。

『地図-302 楽しく学ぶ小学生の地図帳 指導書』 本体価格：13,000円(税別) ISBN：978-4-8071-6487-5

○4年間の地図帳活用をサポートする4分冊

まずはここから入門：『学年別地図帳活用ガイド』／授業を想定した発問例を掲載：『活用編』／

全ページの詳細なポイント解説：『地名解説編』／地図帳に親しむ活用例を豊富に掲載：『3年生からの地図活用サポート編』

○充実の付録

地図を題材にプログラミング的思考が身につけられる「プログラマップ」を収録：DVD-ROM／

まとめ活動に役立つ：白地図／楽しみながら47都道府県を覚えられる：都道府県フラッシュカード